

令和3年度末でご退職を迎える栄養教諭の紹介

名前 栗林 昭子（くりばやし あきこ）さん

所属 学校名 大仙市立大曲小学校

調理場名 大仙市学校給食総合センター

1 趣味：お気に入りのお風呂バックをもって温泉巡りをする

特技：大きい音で拍手ができる

2 いちおしの給食のメニュー：みそ肉じゃが

（子どもから「うんめー」をいただきました。最後にみそを加えることで
まるやかにこくがでます。）

3 今までで嬉しかったこと

中学2年の男子生徒が、きれいに折りたたんだ献立表をペンケースに入れているのをそっと見せてくれたこと。

4 退職を迎えるにあたっての感想

昭和57年、秋田市立旭川小学校に学校栄養職員として採用された後、栄養教諭に任用替えとなり、令和4年3月で40年になります。

在職中は、地域学校栄養士会、県学校栄養士会、秋田県栄養士会、教職員組合に加入し、様々な活動を行うことができました。県学校栄養士会では、食品開発担当として、「納豆餃子」作りに関わり（残念ながら商品化とはなりませんでしたが）、諸先輩から経験談を伺いながら楽しく活動させていただいたことを思い出します。県栄養士会では、学校以外の職域で活躍されている栄養士の方々と活動することで栄養士として研鑽を積むことができました。様々な経験を子どもたちへの指導や業務に生かすことができたかは不安が残りますが、全国各地を訪れ、たくさんの方々や地域ならではの食と出会う機会を与えていただいたことにも感謝しております。

新聞やテレビ、雑誌などに日々多くの「食」の話題が取り上げられています。このことは笑顔で健康な毎日を送るため食への関心が高まっていることを示していると思います。その中であって、学校給食センターの統合が進み、食べる人と作る人の距離が離れていくことが気になります。

私は白いご飯が好きです。いつか教室ごとに炊飯器を置き、炊きたてのご飯を子どもたちに給食として提供することが出来たらと思います。

今まで支えてくださいました、たくさんの方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。新型コロナウイルス感染症の発生が収束し、各地を訪問し、食や人に直接触れ合うことができる日が一日も早く訪れますようお願いしております。本当にありがとうございました。

皆様のご健康と益々のご活躍を心からお祈りしております。

<2年生の子どもの詩の紹介>

小学校2年生の国語で詩をつくる勉強をします。ある男の子が「きゅうしょく」を題材にした短い詩を作ったので、紹介いたします。短い文の中に学校給食への期待・思いが詰まっています。

「おいしいきゅうしょく」

おいしいな もっと食べたいな
このままがいいな まだ食べたいな
しあわせだな